

會務報告

第 23 卷 第 10 號 昭和 12 年 10 月

役員會記事

第 13 回理事會 (昭 12, 8, 23)

出席者：大河戸會長，辰馬，新井再副會長，宮本，關，沼田各理事，柴原書記長，小野寺庶務主任，糸川編輯主任

報告

1. 關西支部第 5 回役員會議事を報告せり。
2. 日本工學會評議員會議事を報告せり。
3. 中華民國汪胡植共物より日本水利觀光記念として墨 150 挺寄贈ありたり。
4. 特別員入會を別紙(省略)材料關係に對し觀察せり。
5. 伊能忠敬翁遺物保存館建設寄附金は 8 月 30 日現在にて 952 圓 16 錢に達せり、依て立替貯貯を差引きたる殘額を伊能忠敬翁功績顕彰會に送付することとせり。

議事

1. 工業規格統一調査會第 1 部長より照會の鋼材規格變更に關する意見は(本會鋼橋示方書調査委員會の調査に依る)次記の通り答申することとせり。

日本標準規格壓延鋼材抗張力、伸其他改正案に對する意見。

昭和 12 年 8 月 2 日附 12 工規第 89 號を以て御照會の表記の件に關し橋梁並に土木構造物用鋼材(鉄筋を含む)に就て次の如く回答申上候

尙本改正案の審議に當りては土木學會より代表を参加せしめられ度申添候

1. 構造用鉄材は改正案によらず現行規格によることと致度

1. 構造用板鋼，形鋼，平鋼，棒鋼は改正案によらず現行規格をそのまま踏襲し鉄筋用棒鋼は構造用棒鋼と同様に改正せられたし

若し現行規格によること困難なる場合には之等各鋼に對し新に 37~45 kg/mm² なる種別を設けられたし 以上

2. 工業品規格統一調査會第 2 部長より照會の下水道用鉄筋コンクリート管規格變更に關し本會は意見なき旨答申することとせり。

3. 地下構造物に於ける鋼材節約調査委員會を設置

することとし委員長及委員の選定は次回理事會に於て協議することとせり。

4. 和蘭國立工學會より申出の灌漑及治水問題に關する調査は宮本總務部長に於て適當に處理することとせり。

5. 仙臺支部長に鶴見一之君當選せられたるに依り依頼することとせり。

6. 日本工學會より照會の萬年會密附工業獎勵資金昭和 11 年度の本會關係受領者を次の如く推薦することとせり。

土木學會に設置の地下構造物に於ける鋼材節約調査委員會

7. 關西支部支出の中華民國技術官歡迎諸費及第 1 回年次學術講演會費決算不足額支出に關しては次回の理事會に於て更に協議することとせり。

8. 役員會及委員會其他閑雜日別紙(省略)の通りとせり。

9. 9 月 24 日(金曜日)日支事變の映畫及海軍關係者に依る講演の會を開催することとせり。

10. 第 1 回年次學術講演會講演集の預約は 1 000 部(23 日現在)に満たざると頁數約 40 頁増加の爲、約 450 餘円の收支不足額を生ずる結果となれり従て今回は講演者その他の關係者に對し寄贈せざること並に次年よりは講演集の發行を見合すことに申合せり。

11. 關西支部に於て編輯幹事 1 名を置き抄録を依頼するの件は次回理事會に於て野坂編輯幹事の説明を求めたる上更に協議することとせり。

12. 本會々員(准員、學生員も含む)にして日支事變の爲出征したる場合は出征中の會費を免除することとせり。

13. 入退會の件

小出三雄君外 2 名を會員に、鮎川貞治君外 21 名を准員に、大川信一君を學生員に、熊本電氣株式會社外社を特別員に入會を承認せり。准員落合與市君外 2 名を會員に。學生員勝場敏雄君外 4 名を准員に轉格を承認せり。

第 14 回理事會 (昭 12, 9, 6)

出席者：大河戸會長，辰馬，新井兩副會長，宮本，金子，沼田各理事，柴原書記長，小野寺庶務主任，朝倉會計主任，糸川編輯主任

報 告

1. 第 6 回關西支部役員會議事を報告せり。
2. 伊能忠敬翁遺物保存館建設費寄附者別紙(省略)の通り報告せり。
3. 別紙(省略)材料關係會社に對し特別員入會を歡誘せり。

議 事

1. 關西支部申出の中華民國技術官歡迎諸費及び第 1 回年次學術講演會費用決算不足額は關西支部經費中より支出することに申合せり。
2. 關西支部に編輯幹事を置き抄録を依頼するの件は見合ふこととす、但し會誌抄録記事を充實するために要する外國雜誌の購入は差支なきも編輯部長の提案を俟つて更に協議することとせり。
3. 地下構造物に於ける鋼材節約調査委員會の委員選定は調査部長より次回に提案協議することとせり。
4. 秋季視察旅行は時局に鑑み中止することとせり。

經 理 部 記 事**第 7 回土木學會財政調查委員會(昭 12. 9. 3)**

出席者：前川委員長、大竹、河口、佐藤、藤田、堀宮長各委員、金子經理部長、柴原書記長、小野寺庶務主任

報 告

1. 特別員入會を歡誘せる材料關係の第 2 回分を別紙(省略)の通り報告せり。

議 事

1. 特別員入會歡誘先材料關係第 3 回分を別紙(省略)の通り決定歡誘することとせり。
2. 8 月末日までに入會の申込ありたる特別員は次の如し、依て未入會の土木關係者に對し入會者名簿を添へ入會盡力方を書面を以て依頼することとせり。

入 會 者

清水組 2 級、間組 1 級、西松組 2 級、東京高遠鐵道會社 3 級、京濱電氣鐵道會社 3 級、京濱地下鐵道會社 3 級、東京橫濱電氣會社 3 級、北海水力電氣會社 3 級、熊本電氣會社 3 級、臺灣電力會社 2 級、東洋鉄鋼會社 3 級、日本ニタネットパイプ會社 3 級。

編 輯 部 記 事**第 7 回編輯委員會(昭 12. 9. 1.)**

出席者：稻葉、大岡、大川、太田尾、岡崎、菊池、野板、廣瀬、安宅各委員、中川編輯囑託

協議事項

1. 第 23 卷第 9 號所載の工事寫眞、討議、彙報、時報、抄録に對する謝禮を決定せり。
2. 第 23 卷第 10 號に下記を追加す。

工事寫眞：落成せる三瀧堰堤

抄録：アスファルトを使用したコロンビヤ河防波堤の凝固實驗(中谷茂壽)、大きい街路橋の床板に就て(住友 彰)、獨逸グリユノーに於ける競漕場(片平信實)、將來嵩上げする様に設計した堰堤(宇野周三)、Plattensee の港灣設備に就て(太田尾廣治)、下水處分に關する時事問題(野中八郎)、コンクリートの疲勞試驗(井上正夫)、大都市の水底自動車隧道(中村清照)、アメリカの道路調査(〃)時報：東北振興電力開伊川第 3 (古田) 發電所發電計畫概要、鉄興社立谷深川發電所發電計畫概要、眞那板山隧道工事概要

新刊紹介：工学博士長谷川謹介傳

3. 第 23 卷第 11 號登載論文を下記の如く決定せり。

論說報告

仙山隧道内軌條溶接並にコンクリート道床工事に就て(會、工、佐藤忠三郎、〃〃加納儉二)、渠内の磨損乃至沈澱を生ぜざる勾配に設置したる各種断面形狀渠の流量式に就て(會、工、北澤貞吉)、塞地線路の特異性と保守(會、高田金十郎)

彙報：隅田川驛最近の水位に就て(會、坂元左馬太)

抄録：水理構造物に對する新形の勢力擴散器(宇野周三)、タールを使用しての粉末狀土壤の安定法(福島彌六)、ハンチに於ける假想剪断力の影響線(篠崎偉一)、新しいコンクリートの壓力(中谷茂壽)、自家製鹽化第 2 鉄を使用する下水の化學的處理(宇野周三)、新形式の水門扉(島山 正)、基礎の下の壓力に就て(藤森謙一)、型枠小桁の径間(中谷茂壽)、建設中のポートランド市大飛行場(〃)、マスコンクリートの人工冷却(久寶 保)

調 査 部 記 事**第 13 回鋼橋示方書調査委員會經過報告(昭 12. 8. 11.)**

出席者：田中委員長、辰馬副會長、沼田調査部長、

青木、稻葉、尾崎、小澤、瀧尾、富樫、西岡、奥田各委員、友永幹事

關西支部記事

審議事項

工業品規格統一調査會第一部長より昭和 12 年 8 月 2 日附工規第 89 號を以て土木學會に照會ありたる日本標準規格歴延鋼材の抗張力、伸其他の改正案に就て審議し橋梁並に土木構造物用鋼材（鉄筋を含む）に對し次の如く決定せり。

- 1. 構造用鉄材は改正案によらず現行規格によることとす。
- 2. 構造用板鋼、形鋼、平鋼、棒鋼は改正案によらず現行規格によることとし鉄筋用棒鋼は構造用棒鋼と同様のものに改正すること。

若し現行規格によること困難なる場合には之等各鋼に對し新に 37~45 kg/mm なる種別を設くること。

- 3. 本改正案の審議會には土木學會よりの代表者を何等かの形式に於て必ず出席せしむるやう工業品規格統一調査會に申入ること。

第 6 回役員會 (昭 12. 8. 30)

出席者：高西支部長、島崎幹事長、柴田幹事、澤井松田、奥中各商議員、清水、岩田兩前支部長、山本主事

議 事

- 1. 第 8 回通俗講演會は 9 月 29 日開催することとす。
- 2. 秋季視察旅行は時局のため延起することとす。
- 3. 第 1 回年次學術講演會不足金、中華民國技術官歡迎費及抄録の件につき協議せり。

そ の 他 記 事

○昭和 12 年 9 月 1 日土木學會誌第 23 卷第 9 號を發行成規の手續を了し全會員に配布せり。

入 會 及 転 格 會 員

特 別 員 (入 會)

熊本電気株式会社	赤星典太君	3 級
京濱電気鉄道株式会社	生野園六君	"
京濱地下鉄道株式会社	望月軍四郎君	"
臺灣電力株式会社	松木幹一郎君	2 "
	後藤曠二君	
東京横濱電鉄株式会社	五島慶太君	3 "
日本エタニットパイプ株式会社	篠塚宗吉君	"

會 員 (入 會)

小出三雄君	朝鮮總督府鉄道局	星野陽一君	鉄道省大田官房研究所	村西藤次郎君	忠清北道廳土木課
-------	----------	-------	------------	--------	----------

准 員 (入 會)

鮎川貞治君	株式会社間組	片平篤夫君	大阪市土木部道路管理課	古床誠一郎君	株式会社間組
石崎貞美君	株式会社鹿島組	鬼頭英一君	額谷組	村松正夫君	茨城縣索道土木出張所
大橋全君	朝鮮總督府鉄道局建設課	阪田壽夫君	内務省神戸港修築事務所	山本義治君	大阪市土木部道路管理課
大原兵造君	朝鮮總督府鉄道局京城建設事務所	田島政男君	朝鮮總督府鉄道局建設課	湯田幸君	内務省神戸土木出張所
大森恭二君	株式会社間組	高島賀君	朝鮮總督府鉄道局京城建設事務所	渡井彰君	朝鮮總督府鉄道局京城建設事務所
太田日出勇君	内務省神戸港修築事務所	中野博孝君	朝鮮總督府鉄道局建設課	齋藤新治君	滿洲三江省公署民政廳土木課
奥田三郎君	朝鮮總督府鉄道局建設課	則川暢男君	朝鮮總督府内務局釜山土木出張所	砂原政務君	廣島縣廳土木部
甲斐幹雄君	滿洲國水力電気建設局工務處				

學 生 員 (入 會)

大川信一君 日大高工

會 員 (転 格)

落合 與市君 出雲電気株式会社 | 沓掛 重義君 奉天鉄道總局工務局保線課 | 南野 繁夫君 門司鉄道局鳥栖保線課

准 員 (転 格)

勝場 敏雄君 | 棚橋 健五君 平安兩道縣土木課 | 中島 文夫君 京都市廳土木部道路課所
 神田 一雄君 内務省東京土木出張所 | 新妻 幸雄君 神奈川縣廳土木部河港課

土 木 学 會 々 員 数

(昭和 12 年 8 月 23 日現在)

會 員	准 員	學 生 員	特 別 員	贊 助 員	合 計
2992	2910	5460	15	21	6484

會 員 關 嘉市君 通州事件にて殉職の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す。

會 員 武内一夫君 の訃報に接す、本會は弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表す。

會 員 庄野春治君 の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す。

准 員 吉田二億君 鳥井雅太郎君 村田美次君 の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す。

會 告

図書室及娛樂室御利用に就て

本會所有の図書及雑誌は本會図書室に備付けてありますから、下記時間内御随意に御閲覧下さい。尙娛樂室には碁、將棋盤を備付けてありますから御利用を御願ひ致します。

自 9 月 1 日至 12 月 28 日 自 午前 9 時 至 午後 8 時、自 7 月 21 日 及 土 曜 日 自 午前 9 時 至 午後 4 時、
自 1 月 4 日至 7 月 20 日 至 8 月 31 日

但し 日曜日及祭日休。

図書御寄贈の御願ひ

本會は本會所有の図書雑誌を整理し、図書室を設備致しました、又新に本會誌に新刊紹介欄を設け、新刊書の内容を紹介する事に致しましたから、會員の著書其の他図書雑誌は大小に拘らず學會宛御寄贈下さる様御願ひ致します。

徽章佩用に就て

本會の徽章は一般會員の方々に必ず佩用して頂く事に致してをります。講演會、見學會其の他事務所御利用には徽章佩用を必要としますから、未だ佩用せられない方は至急御申出で下さい。

1. 徽章の寸法 径 14 mm
2. 品種 銀地金文字浮出し
3. 種類 詰襟服用と背廣服用の別あり
4. 實費 金 50 錢 (郵送の場合は外に書留郵便料 1 個に付金 13 錢を要す)



(實物大)

寄稿に関する注意

1. 用紙 成るべく本會の原稿用紙を使用され度し。原稿用紙は御請求次第御送り致します。
 2. 頁数 頁数は本會の原稿用紙 180 枚（本會誌 30 頁）以内とされ度し。若し前記頁数を超過する場合は登載をお断りすることがあります。
 3. 文体 文体は文章的口語体とす。本文に重要な関係のない前置、挨拶等は省く事。この方針に基き適當に字句の修整、短縮を行ふことがありますから御了承あり度し。
 4. 書体 横書とし、假名は平假名、數字は算用數字、ローマ字は文部省制定ローマ字を使用され度し。歐字は特に明瞭に認められ度し。例へば *n* と *u*, *u* と *v*, *r* と *v*, *a* と *α*, *r* と *γ*, *d* と *δ*, その他 *C* と *c*, *K* と *k*, *O* と *o* 等頭字と小字とを判然たらしむる事。
 5. 數字名數 數字は 3 桁毎に間隔をあげる事名數は次の如く書き括弧内の如く書くを避けること。例へば
35 錢（三十五錢）、13.56 円（十三円五十六錢）、1~4 時間（一時間乃至四時間）、
88326 t（八萬八千三百二十六噸）、昭 12. 1. 1.（昭和十二年一月一日）、
m（米）、m³（立方米）、kg（斤）、83.4 尺（八丈三尺四寸）
 6. 用語 用語は本會制定用語に依られ度し。（本會制定用語は本會發行の土木工學用語集参照）。
コンクリートは片假名で記し漢字を用ひざること。
 7. 図表 (1) 図表は図-1、表-1 等と書き図表題を記すこと。
(2) 複雑なる表の如きは成るべくグラフにて示す事。
(3) 図面はその縮寫し得る様にトレーシングペーパー、オイルペーパー、トレーシングクロス等とすること。
(4) 図表は凡て墨色を用ひインキ類或は採色を施さざる事。
(5) 方眼紙は青野のものを用ひ（黄色、赤色の罫は使用せざる事）縦横線を必要とする部分には豫め墨線にて之を描き置くこと。
(6) 図表の文字、數字は特に大きく書かれ度し（縮寫の標準は 1/2~1/5 程度を以て縮寫後の文字の大きさを約 2mm 程度となる様され度し）。
(7) 図表類は製版の都合上かなり汚損するものと豫め御含み下され度し。
 8. 寫眞 寫眞は特に明瞭なるものを送られ度し。
 9. 其他 (1) 論說報告は邦文に限る。
(2) 論說報告には必ず冒頭に英文表題及邦文要旨並に著者の職名及勤務所名を添附され度し。
- 附記 (1) 彙報、時報、抄録及工事寫眞にして掲載せる分には薄謝を呈します。
(2) 蘭演、論說報告の各欄に掲載の分には抜刷 30 部を寄稿者に贈呈致します。尙 30 部以上御希望の向には豫め御通知ある場合に限り實費にて御要求に応じます。

正誤及訂正表

片勾配付付区間に於ける双曲線形道路横断面曲線に就て

(第23巻第8號所載)

行	誤	正
12	Ox'	O'x'
24	於ては	就ては
10	以上の式を式-23, 24 に	以上の式を式-23, 24 に
下より 7	或は NN 断面に近づくに	或は MM 断面に近づくに
下より 5	$\frac{OH+FD}{HF^*}$	$\frac{OH+FD}{HF}$
下より 2	を式-19, 20 に代入して b を	を式-20 に代入して b を
" "	この b 及 ρ を代入すれば	この b 及 ρ を式-19 に代入すれば
下より 3	$\lim_{\frac{n}{m} \rightarrow 0} \rho^2 = i^2$	$\lim_{\frac{n}{m} \rightarrow 1} \rho^2 = i^2$
下より 6	$b+q$	$c+q$

855 頁 表-4. $\frac{n}{m}$ 欄と η 欄との間に次の ρ の値を追加のこと。

ρ
0.03066
0.03392
0.03718
0.04044
0.04370
0.04696
0.05348

航空寫眞測量に於ける被覆面積に就て

(第23巻第8號)

頁	誤	正
816	図-6. 傾斜	図-6. 傾斜實体寫眞測定の被覆面積

會 告

曩に募集致しました伊能忠敬翁遺物保存館建設費寄附金は 8 月末日までに 1052 円 25 銭に達しましたので、不取敢伊能忠敬翁功績顯彰會に對し寄附者名簿を添へ送金致しました、御賛同下さいました諸君に對し本誌を通じ厚く御禮申上ます。

土 木 学 會

伊能忠敬翁遺物保存館建設費寄附者芳名

(敬稱省略) アイウエオ順

100 円	中 川 吉 造	19 円 10 銭	仙臺高等工業学校 土木工学科生徒一同 名 井 九 介	12 円	錢 高 作 太 郎
10 円	谷 口 三 郎	10 円		10 円	早稻田大学図書館
8 円	上 田 寧	6 円	平 山 復 二 郎	6 円	松 島 寛 三 郎
5 円	芦 田 享 介	5 円	新 井 榮 吉	5 円	江 橋 貞 二
5 円	小 野 基 樹	5 円	大 河 戸 宗 治	5 円	片 岡 安
5 円	門 野 重 九 郎	5 円	木 津 正 治	5 円	小 山 三 郎
5 円	佐 藤 俊 久	5 円	佐 藤 長 太 郎	5 円	森町大字蛇谷村部落代表者 佐野 三 郎
5 円	坂 本 助 太 郎	5 円	清 水 幸 次	5 円	杉 浦 宗 三 郎
5 円	杉 山 榮	5 円	太 刀 川 平 治	5 円	田 村 啓 三
5 円	辰 馬 鎌 藏	5 円	戸 出 一	5 円	東 福 寺 正 雄
5 円	中 谷 郁 三 郎	5 円	野 村 龍 太 部	5 円	萩 原 精 三
5 円	八 田 嘉 明	5 円	藤 村 靈	5 円	古 川 阪 次 郎
5 円	牧 野 雅 樂 之 丞	5 円	松 尾 守 治	5 円	三 池 貞 一 郎
3 円	阿 部 貞 壽	3 円	淺 井 次 三 郎	3 円	石 井 林 次 郎
3 円	今 泉 茂 松	3 円	井 口 鹿 象	3 円	内 田 泰 郎
3 円	小 川 敬 次 郎	3 円	小 野 早 苗	3 円	大 井 清 一 郎
3 円	大 政 茂 市	3 円	大 井 上 前 雄	3 円	岡 田 竹 五 郎
3 円	寛 斌 治	3 円	鹽 原 三 郎	3 円	柴 田 正 雄
3 円	鳥 重 治	3 円	白 石 鐵 藏	3 円	榛 葉 孝 平
3 円	諏 訪 頼 造	3 円	鈴 木 平	3 円	瀬 野 尼 喜 八
3 円	田 淵 壽 郎	3 円	太 樞 村 役 場	3 円	高 田 景 郎
3 円	高 西 敬 義	3 円	德 田 忠 夫	3 円	陶 山 直 次 郎
3 円	中 原 藤 一 郎	3 円	中 村 謙 一	3 円	西 川 總 一
3 円	野 方 寅 吉	3 円	北海道ノ村交通期 成會長 野村忠三 郎	3 円	橋 本 敬 一 之
3 円	濱 田 重 民	3 円	藤 根 壽	3 円	松 尾 寛 一
3 円	三 浦 宇 三 郎	3 円	泰 野 重 義	2 円	本 間 勝 太 郎
2 円	秋 元 重 保	2 円	淺 野 好	2 円	安 齋 太 郎
2 円	井 上 秀 二	2 円	伊 藤 百 世	2 円	伊 藤 茂 利 三
2 円	伊 藤 信 男	2 円	五 十 嵐 三 郎	2 円	生 駒 勇 六
2 円	石 川 鼎	2 円	石 探 宇 吉	2 円	今 中 權 藤
2 円	岩 崎 富 久	2 円	薄 田 清	2 円	遠 藤 藤 吉

2	川	清	2	小	川	2	小	川	織	三	2	小	川	織	三	2	小	川	織	三
2	大	政	2	大	塩	2	大	大	木	利	2	大	大	木	利	2	大	大	木	利
2	川	章	2	川	澤	2	大	大	藤	高	2	大	大	藤	高	2	大	大	藤	高
2	小	真	2	小	出	2	大	大	海	三	2	大	大	海	三	2	大	大	海	三
2	佐	忠	2	小	藤	2	大	大	藤	佐	2	大	大	藤	佐	2	大	大	藤	佐
2	坂	丹	2	小	本	2	大	大	藤	靜	2	大	大	藤	靜	2	大	大	藤	靜
2	澁	彦	2	小	谷	2	大	大	田	太	2	大	大	田	太	2	大	大	田	太
2	神	金	2	小	保	2	大	大	森	三	2	大	大	森	三	2	大	大	森	三
2	鈴	鹿	2	小	木	2	大	大	木	文	2	大	大	木	文	2	大	大	木	文
2	高	三	2	小	橋	2	大	大	阪	堅	2	大	大	阪	堅	2	大	大	阪	堅
2	武	富	2	小	田	2	大	大	井	一	2	大	大	井	一	2	大	大	井	一
2	壺	洋	2	小	蔭	2	大	大	中	忠	2	大	大	中	忠	2	大	大	中	忠
2	中	正	2	小	島	2	大	大	村	一	2	大	大	村	一	2	大	大	村	一
2	中	昌	2	小	村	2	大	大	田	聰	2	大	大	田	聰	2	大	大	田	聰
2	長	次	2	小	尾	2	大	大	川	熊	2	大	大	川	熊	2	大	大	川	熊
2	四	兵	2	小	田	2	大	大	山	末	2	大	大	山	末	2	大	大	山	末
2	原	千	2	小	多	2	大	大	卷	四	2	大	大	卷	四	2	大	大	卷	四
2	本	木	2	小	浦	2	大	大	川	貫	2	大	大	川	貫	2	大	大	川	貫
2	三	敬	2	小	森	2	大	大	井	九	2	大	大	井	九	2	大	大	井	九
2	山	廣	2	小	岡	2	大	大	ケ	正	2	大	大	ケ	正	2	大	大	ケ	正
2	山	正	2	小	本	2	大	大	田	三	2	大	大	田	三	2	大	大	田	三
2	和	岩	2	小	田	2	大	大	阿	沼	2	大	大	阿	沼	2	大	大	阿	沼
1	阿	太	2	小	波	2	大	大	曾	立	2	大	大	曾	立	2	大	大	曾	立
1	安	賢	2	小	藤	2	大	大	青	木	2	大	大	青	木	2	大	大	青	木
1	青	秀	2	小	崎	2	大	大	山	喜	2	大	大	山	喜	2	大	大	山	喜
1	青	之	2	小	山	2	大	大	川	輝	2	大	大	川	輝	2	大	大	川	輝
1	淺	基	2	小	尾	2	大	大	間	逸	2	大	大	間	逸	2	大	大	間	逸
1	淺	義	2	小	見	2	大	大	壘	良	2	大	大	壘	良	2	大	大	壘	良
1	有	欣	2	小	江	2	大	大	元	岩	2	大	大	元	岩	2	大	大	元	岩
1	井	隆	2	小	本	2	大	大	上	二	2	大	大	上	二	2	大	大	上	二
1	井	藤	2	小	上	2	大	大	藤	健	2	大	大	藤	健	2	大	大	藤	健
1	伊	茂	2	小	藤	2	大	大	十	嵐	2	大	大	十	嵐	2	大	大	十	嵐
1	伊	利	2	小	十	2	大	大	飯	大	2	大	大	飯	大	2	大	大	飯	大
1	五	醇	2	小	野	2	大	大	池	三	2	大	大	池	三	2	大	大	池	三
1	飯	之	2	小	上	2	大	大	池	重	2	大	大	池	重	2	大	大	池	重
1	池	重	2	小	藤	2	大	大	池	壽	2	大	大	池	壽	2	大	大	池	壽
1	池	與	2	小	生	2	大	大	井	彌	2	大	大	井	彌	2	大	大	井	彌
1	石	時	2	小	石	2	大	大	田	貞	2	大	大	田	貞	2	大	大	田	貞
1	石	藏	2	小	乾	2	大	大	洞	孝	2	大	大	洞	孝	2	大	大	洞	孝
1	市	二	2	小	岩	2	大	大	川	周	2	大	大	川	周	2	大	大	川	周
1	今	登	2	小	岩	2	大	大	淵	治	2	大	大	淵	治	2	大	大	淵	治
1	岩	夫	2	小	上	2	大	大	村	博	2	大	大	村	博	2	大	大	村	博
1	宇		2	小		2	大	大			2	大	大			2	大	大		

1 四	植	草	定	太	郎	1 四	植	松	宗	太	郎	1 四	內	海	清	溫
1 四	內	田	莊	莊	一	1 四	內	田	田	稔	平	1 四	鶉	富	士	雄
1 四	梅	津	理	次	吉	1 四	江	守	保	璋	郎	1 四	枝	松	鷹	次
1 四	越	前	谷	長	三	1 四	榎	川	梅	三	郎	1 四	遠	藤	金	市
1 四	遠	藤	竹	三	郎	1 四	小	川	崎	弘	郎	1 四	小	小	田	吾
1 四	小	川	新	龍	市	1 四	小	野	寺	市	衛(北海道)	1 四	小	小	宅	吉
1 四	小	野	龍	胤	一	1 四	大	岡	大	三	治	1 四	大	神	啓	次
1 四	大	串	榮	太	郎(新潟)	1 四	大	大	大	大	義	1 四	大	大	竹	末
1 四	大	大	武	夫	重	1 四	大	大	大	夫	郎	1 四	大	大	坪	正
1 四	大	大	朝	重	吉	1 四	大	大	大	一	郎	1 四	大	大	原	蕭
1 四	大	大	章	保	昇	1 四	大	大	大	信	次	1 四	大	大	田	朝
1 四	岡	野	保	人	勇(札幌)	1 四	岡	林	秋	次	孝	1 四	岡	岡	部	哲
1 四	岡	部	三	郎	松	1 四	岡	田	清	利	三	1 四	岡	山	二	鶴
1 四	加	藤	貞	一	郎	1 四	加	藤	谷	利	三	1 四	加	子	四	郎
1 四	賀	門	源	忠	俊	1 四	賀	門	澤	利	三	1 四	金	子	義	貢
1 四	片	山	源	忠	俊	1 四	片	山	澤	利	三	1 四	金	子	久	影
1 四	金	子	述	昌	一	1 四	金	叶	澤	利	三	1 四	金	子	久	寬
1 四	兼	田	昌	一	郎	1 四	兼	本	雅	夫	郎	1 四	金	子	久	則
1 四	兼	田	淳	一	郎	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	孚
1 四	神	藤	毅	三	郎	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	助
1 四	川	崎	協	一	郎	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	政
1 四	河	口	清	一	郎	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	藏
1 四	河	原	清	一	郎	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	雄
1 四	木	野	健	一	郎	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	郎
1 四	木	野	健	一	郎	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	重
1 四	北	澤	一	郎	夫	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	雄
1 四	桐	谷	一	郎	夫	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	均
1 四	草	間	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	兒
1 四	黑	澤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	文
1 四	川	瀨	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	平
1 四	小	林	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	雄
1 四	小	井	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	藏
1 四	五	井	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	夫
1 四	後	藤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	貞
1 四	近	新	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	吉
1 四	佐	木	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	治
1 四	佐	藤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	守
1 四	佐	藤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	郎
1 四	齊	藤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	平
1 四	坂	藤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	郎
1 四	坂	藤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	一
1 四	坂	藤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	功
1 四	坂	藤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	二
1 四	笹	藤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	文
1 四	澤	藤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	文
1 四	山	藤	文	正	雄	1 四	兼	本	啓	三	郎	1 四	金	子	久	文

1 田	鹽	金	知	賀	麿	1 田	柴	原	龍	兒	1 田	島	政	吉
1 田	島	崎	孝	彦	彦	1 田	下	鳥	正	夫	1 田	庄	司	太
1 田	新	堂	繁	宏	宏	1 田	春	藤	眞	三	1 田	須	崎	四
1 田	須	藤	朝	基	基	1 田	須	藤	壽	美	1 田	須	藤	正
1 田	杉	浦	太	郎	郎	1 田	杉	山	敬	貞	1 田	杉	山	光
1 田	鈴	木		昭	昭	1 田	鈴	木	三	次	1 田	鈴	木	角
1 田	鈴	木	邦	彦	彦	1 田	角	田	健	郎	1 田	妹	尾	俊
1 田	清	野	暢	三	三	1 田	隴		信	雄	1 田	關	谷	新
1 田	田	賀	秀	和	和	1 田	田	田	俊	一	1 田	田	鳥	正
1 田	田	代	隆	亮	亮	1 田	田	中	五	郎	1 田	田	中	作
1 田	田	中	一	郎	郎	1 田	田	中	太	郎	1 田	田	中	豐
1 田	田	中	英	雄	雄	1 田	田	中	義	廣	1 田	田	丸	陸
1 田	高	田	半	吉	吉	1 田	高	田		郎	1 田	高	野	太
1 田	高	橋	榮	郎	郎	1 田	高	橋	嘉	一	1 田	高	橋	勝
1 田	高	橋	咲	保	保	1 田	高	橋	敏	五	1 田	高	田	善
1 田	高	橋	和	平	平	1 田	高	村	克	一	1 田	高	竹	義
1 田	高	瀧	田	之	之	1 田	高	竹	內	雄	1 田	高	竹	股
1 田	武	井	金	二	二	1 田	武	立	井	外	1 田	武	谷	內
1 田	武	田	英	吉	吉	1 田	武	立	花	次	1 田	武	谷	口
1 田	谷	田	廣	三	三	1 田	玉	津	村	勇	1 田	調	所	武
1 田	津	田	康	吉	吉	1 田	津	土	田	素	1 田	辻	川	勝
1 田	土	谷		賀	賀	1 田	土	待		治	1 田	塊	榮	左
1 田	堤	格		三	三	1 田	恒	田	敬	三	1 田	劍	地	作
1 田	出	島	一	宏	宏	1 田	郊	在		英	1 田	寺	田	太
1 田	土	井	良	郎	郎	1 田	土	志	田	郎	1 田	遠	武	勇
1 田	遠	山	明	彌	彌	1 田	德	島	福	謙	1 田	德	弘	春
1 田	富	谷		巖	巖	1 田	豐	川		寬	1 田	直	木	倫
1 田	中	倉	專	郎	郎	1 田	中	鳥	正	治	1 田	中	田	勝
1 田	中	野	幸	元	元	1 田	中	村		保	1 田	中	村	廉
1 田	長	尾	正	眞	眞	1 田	長	島	清	敏	1 田	長	野	定
1 田	長	屋		夫	夫	1 田	成	松	幸	雄	1 田	成	田	助
1 田	南	野	繁	義	義	1 田	新	島		精	1 田	西	澤	忠
1 田	西	山	尚	平	平	1 田	西	沼	政	矩	1 田	西	松	悅
1 田	野	瀨	正	人	人	1 田	沼	野	道	也	1 田	野	口	幸
1 田	馬	島		進	進	1 田	野	畑	生	德	1 田	野	畑	中
1 田	畑	野		正	正	1 田	畑	服	部	政	1 田	畑	濱	口
1 田	林	爲		藏	藏	1 田	林	林	將	一	1 田	原	口	忠
1 田	原	清	節	輔	輔	1 田	原	日	田	貞	1 田	原	田	大
1 田	春	木	千	郎	郎	1 田	日	東	野	官	1 田	原	樋	浦
1 田	楡	山		里	里	1 田	東	平	尾	善	1 田	東	村	尾
1 田	兵	藤	一	仁	仁	1 田	平	廣	佳	宅	1 田	平	井	井
1 田	廣	石	井	匠	匠	1 田	廣	福	來	十	1 田	深	田	西
1 田	福	田		游	游	1 田	福	福	田	郎	1 田	福	福	西
1 田	福			稔	稔	1 田	福	福		實	1 田	福	福	

(北長濱村長)

(北長濱村長)

1	藤	木	朔二	1	藤	田	弘	直	1	藤	野	慶
1	藤	原	健	1	藤	原	孫	七	1	船	本	時
1	古	市	正	1	古	川	淳	三	1	古	川	貫
1	星	重	雄	1	星	野	戒	自	1	細	阪	次
1	堀	內	造	1	堀	江		民	1	井	吉	治
1	本	莊	一	1	本	田	光	夫	1	永	德	太
1	眞	島	雄	1	眞	鍋	將	太	1	間	源	兵
1	前	千	次	1	牧			勇	1	田	井	敏
1	町	代	臣	1	松	井	秀	夫	1	增	井	展
1	松	利	秋	1	松	尾	末	郎	1	松	浦	四
1	三	康	郎	1	松	田	貞	郎	1	三	岡	雅
1	三	太	藏	1	三	浦	矩	明	1	三	井	正
1	三	久	郎	1	三	成		慶	1	水	木	光
1	南	卯	郎	1	水	谷	政	夫	1	宮	宅	發
1	宮	信	一	1	峯	村	國	吉	1	野	澤	越
1	宮	海	雄	1	宮	田	和	正	1	地	藤	德
1	向	平	作	1	宮	本	之	輔	1	上		武
1	村	太	信	1	村	井	久	次	1	武	村	弘
1	森	義	男	1	村	山	勝	郎	1	元	木	太
1	森	富	造	1	森	井	健	介	1	森	下	文
1	八	健	次	1	安	田	典	香	1	柳	光	勇
1	山	孝	藏	1	山	岸	卓	治	1	山	井	三
1	山	與	郎	1	山	口	貞	一	1	山	岸	安
1	山	二	義	1	山	崎	一	郎	1	山	崎	一
1	山	德	二	1	山	田	武	優	1	山	田	三
1	山	隆	夫	1	山	根	次	治	1	山	中	良
1	山	真	翻	1	山	本	英	郎	1	山	本	佳
1	山	朝	則	1	山	道	郎	一	1	山	山	谷
1	山	朝	文	1	山	町	辰	夫	1	山	田	幹
1	山	正	龍	1	山	部	節	也	1	山	吉	傳
1	山	整	作	1	山	部	太	郎	1	山	和	嘉
1	山	額		65	山	吉	太		1	山	渡	六
1	山			錢	山	田	田		1	山	邊	由
1	山				山	北	合		1	山	平	藏
1	山				山		計		1	山		
							金					
							1052					
							円					
							25					
							錢					

會 告

本會々員にて今次の事変に際して出征せられる方は出征中會費免除の手続きを採りますから至急當學會まで御通告下さい。

御住所不明會員に就て御願ひ

下記諸君は転居先の御通知がないため、會誌の配布を始め、その他の諸通信が出来ませんのは誠に遺憾であります。どうぞ知人の方は御手数恐れ入りますが、御本人に御注意下さるか本會にその住所又は勤務先を御知らせ願ひます。

會 員		會 員	
荒川 參太郎君	稻 葉 彌 吉君	木 村 眞 一 郎君	小 林 源 次君
轟 増 能君	山 本 保 之 助君		
准 員		准 員	
和 泉 高 嚴君	池 田 乙 次 郎君	池 田 角 太 郎君	緒 方 政 雄君
大 森 鶴 吉君	佐 藤 與 吉君	徐 三 善君	栗 田 忠 治君
小 林 義 雄君	野 口 金 太君	關 佳 夫君	曾 我 進君
船 橋 貞 一君	高 橋 理 三 郎君	本 橋 二 郎君	吉 見 胤 隆君
中 野 順 太 郎君	難 波 壽 一君	吉 田 二 億君	劉 作 禮君
濱 崎 禎 四 郎君	平 本 源 太 郎君	水 原 馨 文君	宮 田 肇君
横 田 清 治君	石 原 三 郎君	齋 藤 賢 策君	多 田 安 三 郎君

時報、會員の頁記事及工事寫眞募集

◎時報欄は下記内容の記事を掲載する事になつてゐますから適當なる記事の御投稿を御願ひ致します。

- 土木工事の計畫、設計、施工の進捗、竣功の狀況、金額等のニュース
- 土木工学界の内外学協會、調査會、委員會等の設立、調査研究事項並に報告其他會議、催物の簡單なる紹介
- 官廳、會社、公共團體の組織、事業に関するニュース
- 法規、示方書、規定等の紹介

◎會員の頁は會員諸君の土木工学、土木工事、土木學會、土木技術社會に對する批判、時評、感想、希望等御發表の御利用に充てたものでありますから振つて御投稿を御願ひ致します。

◎工事中又は竣功せる工事の寫眞を募集致します。寫眞にはその工事の簡單なる説明を御記入下さい。

會員転居転勤の場合の注意

會員の御転居又は御転勤の場合は即時明細に御通知下され度し。

會費納付に付き注意

會 費	會員種格	會費年額	第 1 期分 (1月~6月)	第 2 期分 (7月~12月)
	會 員	金 12 円	金 6 円	金 6 円
	准 員	金 9 円	金 4.50 円	金 4.50 円
	学生員	金 6 円	金 3 円	金 3 円

新入會者は月割計算とす。

納 期 第 1 期分：3 月 第 2 期分：9 月

納付方法 集金郵便を差向けます（旅行等にて御不在の場合も拂込に支障なき様御配慮下さい）。

振替郵便御利用の場合は振替口座東京 16828 番へ願ひます。

朝鮮滿洲の一部等振替貯金を取扱はざる地に居住せらるゝ會員は納期の翌月末迄爲替その他の方法に依り御送金相成たし。

會費一時納付の御豫定の場合は豫め御通知下されたし。

未納の場合 集金郵便に對し故なく支拂を拒絶し又はその他の方法により御送金なき場合は會費滞納者として遺憾ながら定款第 2 章第 14 條第 1 項に依り會誌の配布を停止せられます。

會誌未着の場合の注意

會誌は毎月 1 日に發行し漏なく配布致しますから、未着の場合には一応本會に御照會下さい。

發行後數ヶ月経過しての照會は時に殘部皆無となり配布不可能の場合があります。

既刊會誌殘部内譯

(* は残部有るものを示す)

巻	號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	金額(1部)
5		*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
6		-	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	-	1.00
7		-	*	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	1.50
8		*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
9		*	*	*	-	*	*	-	-	-	-	-	-	2.00
10		-	*	*	*	*	*	-	-	-	-	-	-	2.00
11		-	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
12		-	*	*	-	*	*	-	-	-	-	-	-	2.00
13		-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
14		*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	-	-	2.00
15		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
16		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
17		*	*	*	*	*	*	*	*	-	*	*	*	1.00
18		-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
19		*	*	*	-	*	*	*	*	*	*	-	*	1.00
20		*	*	*	*	-	-	-	-	-	*	*	*	1.00
21		-	-	-	*	*	-	-	*	*	-	*	*	1.00
22		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
23		-	*	-	*	-	*	*	*	*	*	*	*	1.00
第 20 巻第 12 號 (創立 20 周年記念號)														1.50
第 21 巻第 7 號 (會誌索引付)														1.30
震害調査報告書(1,2,3)														13.00
応用力学聯合大會講演集														1.00
鉄筋コンクリート標準示方書 同 上 解 説														1.00
土木工学論文抄録														3.50
土木學會誌索引(第 1 巻第 1 號—第 20 巻第 12 號)														0.50
昭和 9 年關西地方風水害調査報告														1.80
土木工学用語集														2.50 (送料別)

上記残部會誌御希望の場合は所要金額を振替口座東京 16828 番に拂込用紙通信欄にその旨記入請求せられたし。

廣 告 料

普通廣告	1 回 1 頁	35 円	1 回半頁	20 円
指定廣告	{裏表紙 3 面對 向及廣告初頁}		1 回 1 頁	40 円
	裏表紙 3 面		1 回 1 頁	70 円
	色アート		1 回 1 頁	60 円

○指定廣告は凡て 1 箇年継続申込のものに限り取扱ふものとす

○會員自身の廣告に對しては總て上記料金の割引とす

○同一廣告の連続掲載申込に對しては 1 年 4 回以上 1 割引とす

○廣告に寫眞版又は木版等を挿入する場合は之に要する實費を別に申受くるものとす

昭和十二年十月一日發行

DOBOKU-GAKKAI-SI.

(JOURNAL OF THE CIVIL ENGINEERING SOCIETY.)

VOL. XXIII, NO. 10, OCTOBER. 1937.

CONTENTS.

	Page
Proceedings of the Society.	99
Papers.	
On the Present Condition of Humps in Japan. <i>By Kanae Satô, C.E., Member.</i>	1061
On Gradient Formulas Common to Sewers of Various Shapes of Cross-Section. <i>By Teikiti Kitasawa, C.E., Member.</i>	1071
On the Fault in the 4th Sakane Tunnel of the Kisuki Line. <i>By Takeo Kazama, C.E., Member.</i>	1101
On the Construction Work of Underground Railway under Ôsaka Station. <i>By Akira Etô, C.E., Member.</i>	1109
Discussions.	1125
Abstracts of Selected Articles.	1133
Current Notes.	1173
Patent News.	1177
New Publications.	1179

OFFICE

No. 6, 3-TYÔME, MARUNOUTI, KÔZIMATI-KU, TÔKYÔ, JAPAN.